

# 山形県立図書館の大規模改修の概要について

## ◇ 改修の基本的考え方

1階は人が集い誰もが気軽に利用できるエリア、2階は静かな環境で読書や学習ができるエリアとし、利用目的に応じた使い方ができる配置とする。

- ・ 図書館エリアの拡大  
図書館部分面積を現3,390㎡から約5,000㎡に拡大する。
- ・ 開架冊数の拡大  
現在の開架冊数約180,000冊から360,000冊の開架が可能となるよう拡大する。
- ・ 閲覧席数の拡大  
カウンター席、グループ席、ソファ、スツール等、多様なスタイルの閲覧席を、現110席から約330席に拡大する。



エントランスホール イメージ

## ◇ 改修の概要

### ≪ 1階 ≫

- ・ エントランスホール  
大型書架を設置し、本に囲まれたときめきのある空間で、新たな本との出会いを創出する。
- ・ ラウンジ/デッキエリア  
庭園とつながるラウンジ/デッキエリアは、今までにない寛ぎの空間で四季の移ろいを感じながら読書を楽しめるエリアとする。
- ・ 子ども用エリア  
お話の部屋や子ども用トイレ、授乳室等を一か所にまとめることで、子ども連れの方が気兼ねなく利用でき、子どもが本の楽しさを実感できるエリアとする。
- ・ カフェ・レストラン/ショップ  
読書の合間にひとときの憩いの場となるよう、食事やコーヒーを提供するとともに物販を行う。
- ・ 縣人文庫  
関連する専門分野の書架に分散配置し、本県出身の偉人の功績を多くの方に見ていただく。

### ≪ 2階 ≫

- ・ サイレントエリア  
館内で最も静かな環境とし、集中して読書や学習ができる空間とする。
- ・ 平成30年度～31年度：改修工事（開館しながらの工事を想定）  
・ 平成31年度中：リニューアルオープン

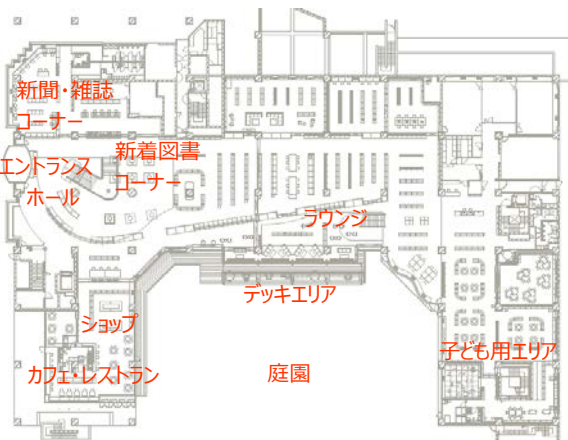


ラウンジ イメージ

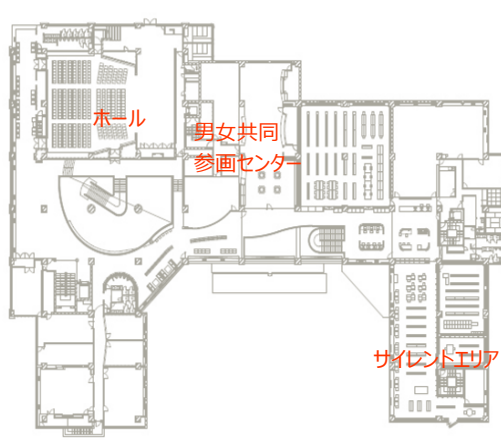


カフェ・レストラン/ショップ イメージ

1階平面図



2階平面図



3階平面図



※今後の精査により内容が変更になることがあります。